

平成25年度における温室効果ガス等の排出の削減に
配慮した契約の締結実績の概要

平成26年8月20日
京 都 大 学

国等における温室効果ガス等の排出の削減に配慮した契約の推進に関する法律（平成19年法律第56号。以下「環境配慮契約法」という。）第8条第1項の規定に基づき、平成25年度における温室効果ガス等の排出の削減に配慮した契約の締結実績の概要を取りまとめたので、公表する。

1. 平成25年度の経緯

環境配慮契約法及び国及び独立行政法人等における温室効果ガス等の排出の削減に配慮した契約の推進に関する基本方針（平成22年2月5日閣議決定。以下「基本方針」という。）に基づき、可能なものから温室効果ガス等の排出の削減に配慮した契約（以下「環境配慮契約」という。）の締結に努めた。

2. 環境配慮契約の締結状況

（1）電気の供給を受ける契約

平成25年度においては、吉田キャンパスなど6キャンパスで使用する電気の調達に関して、以下のとおり環境配慮契約がなされた。

【吉田キャンパス】

| | |
|--------|---|
| 契約期間 | 平成25年10月1日 ～ 平成26年9月30日 |
| 契約電力 | 14,140W |
| 予定使用電力 | 68,945,180 kWh |
| 契約方式 | 事業者の環境配慮の取組状況により入札参加資格を制限する一般競争入札（裾切り方式）（注） |
| 入札申込者 | 1者（入札参加資格に適合した者：1者） |
| 落札者 | 関西電力株式会社 |

【宇治キャンパス】

| | |
|--------|--|
| 契約期間 | 平成 25 年 10 月 1 日 ~ 平成 26 年 9 月 30 日 |
| 契約電力 | 6,500 kW |
| 予定使用電力 | 24,074,040 kWh |
| 契約方式 | 事業者の環境配慮の取組状況により入札参加資格を制限する 一般競争入札（裾切り方式） |
| 入札申込者 | 1 者（入札参加資格に適合した者：1 者） |
| 落札者 | 関西電力株式会社 |

【病院キャンパス】

| | |
|--------|--|
| 契約期間 | 平成 26 年 4 月 1 日 ~ 平成 27 年 3 月 31 日 |
| 契約電力 | 15,110 kW |
| 予定使用電力 | 87,202,180 kWh |
| 契約方式 | 事業者の環境配慮の取組状況により入札参加資格を制限する 一般競争入札（裾切り方式） |
| 入札申込者 | 1 者（入札参加資格に適合した者：1 者） |
| 落札者 | 関西電力株式会社 |

【犬山キャンパス】

| | |
|--------|--|
| 契約期間 | 平成 26 年 4 月 1 日 ~ 平成 27 年 3 月 31 日 |
| 契約電力 | 473 kW |
| 予定使用電力 | 2,226,306 kWh |
| 契約方式 | 事業者の環境配慮の取組状況により入札参加資格を制限する 一般競争入札（裾切り方式） |
| 入札申込者 | 2 者（入札参加資格に適合した者：1 者） |
| 落札者 | 中部電力株式会社 |

【熊取キャンパス】

| | |
|--------|--|
| 契約期間 | 平成 26 年 4 月 1 日 ～ 平成 27 年 3 月 31 日 |
| 契約電力 | 2,600kW |
| 予定使用電力 | 7,477,364 kWh |
| 契約方式 | 事業者の環境配慮の取組状況により入札参加資格を制限する 一般競争入札（裾切り方式） |
| 入札申込者 | 3 者（入札参加資格に適合した者：3 者） |
| 落札者 | ミツウロコグリーンエネルギー株式会社 |

（注）当該入札の申込者のうち、二酸化炭素排出係数、未利用エネルギー活用状況、新エネルギー導入状況及びグリーン電力証書への譲渡予定量に係る数値をそれぞれ点数化し、その合計が基準以上である者の中から、最低の価格をもって申込みをした者を落札者とするもの。

【桂キャンパス】

| | |
|--------|--------------------------------------|
| 契約期間 | 平成 25 年 11 月 1 日 ～ 平成 26 年 10 月 31 日 |
| 契約電力 | 4,850 kW |
| 予定使用電力 | 26,439,609 kWh |
| 契約方式 | 随意契約 |
| 入札申込者 | 0 者 |
| 落札者 | 関西電力株式会社 |

（２）自動車の購入に係る契約

環境配慮契約を適用する基準の案件がなかった。

（３）船舶の調達に係る契約

環境配慮契約を適用する基準の案件がなかった。

（４）省エネルギー改修事業に係る契約

平成 25 年度においては、吉田キャンパス（病院地区・本部地区）1 施設の空調設備において省エネ対策の為フィージビリティ・スタディを実施の上、対策工事を実施した。

吉田キャンパス（病院）においては、ギャランティード・セイビングス契約による設備更新型 ESCO 事業を 1 件実施した。

(5) 建築物の設計に係る契約

平成25年度においては、流域災害研究拠点施設新営（設備）などの設計業務12件について、温室効果ガス等の排出の削減に配慮する内容を含む技術提案を求め、総合的に勘案してもっとも優れた技術提案を行った者を特定する環境配慮型プロポーザル方式を採用した。

(6) 産業廃棄物処理に係る契約

環境配慮契約を適用する基準の案件がなかった。

以上